

## 石炭海上輸送

海上輸送に炭石六五〇トン名古屋へ  
第一船浅間丸は二十日頃に  
湯本炭六五〇トン名古屋へ  
貨車の不足を補つて時辰の一船を圖るため配炭公團では既報の如く名古屋港と連絡して小名港を利用する石炭の試験輸送を計畫したが同港は防護施設が不完全の上、貯炭場もないのでその利用が難しかつたとされその上、防護設備も貧弱なので季節風の強い折柄この惡條件下輸送は各方面から注目されてゐる、その第一船は新潟造船F型（五百十六噸）の日籍丸か一二百噸前後で同船は常磐鐵道湯本坑の塊炭六百五十を積んで名古屋港へはまずで第一船は浅間丸が二十九日ころ入港六百トナを荷積名古屋へ輸送する。

## 指導船に共盛丸を

勞務者加配  
食用油劑量

（江名町黒川喜一郎氏）が所  
有する共盛丸（一二八トン）  
を指揮船に振付けても良い意  
思は明らかで、來たので同試験  
では、この問題に繋がるの事  
は、安達同場長が縣へ傳える。と  
六に是井とも確保して欲し。  
日を訴えた模様で縣の態度如何  
で決るらしい。

この共盛丸は二十二年六月  
静岡縣宿泊漁船所で進水し  
た鋼製船で百一十八トン、  
二百五十五馬力の俊姫號で  
且下洋漁業に従事中のも  
のである。

# 古河好商鐵労組大會

法主大僧正推尾國海之子一 運

本会議では、主として日本が解体の爲に突破資本一千五百万円を出して、いる點をその危機を認めるがこの際朝鮮殖民地合理化の爲瓦礫の精神あふみよりで生活確保策協調実現された、  
・會計課では政府に訴へ質改訂を實現し、源資の

新制小学校 水産學校は水産専門制學校に改組することになつたが新入生の募集は漁ろう、漁業各四十名で漁ろう、漁生は漁船がなければならぬので當分の間民間の邊洋漁船を用意することになつてゐる。

邦文スタイル  
◎開講四日受附期日自市田平

生徒募集  
三月十日至三月三十日  
五五(安藤鉄城)四〇四

けさの小荷物車取締り  
相談す出ることおひたまし  
半地區、自慰では十日(一〇)一  
二〇八列車の各小荷物車を取  
締つた結果左の收穫を擧げた  
★精米三七二キロ(四十件)  
★後五キロ(一升) ★運搬  
石五九キロ(七一升) ★イ  
言葉もありました(けネ

モロコシ二十貫(千件) ☆麿粉  
 五四貫(六件) ☆麿粉一五  
 ○キロ(一六件) ☆麿粉  
 キロ(一件) ☆加工水産物  
 一〇八貫(四一件) ☆木炭  
 九六キロ(大件) ☆葉タバ  
 ュニ百五十五(一件) ☆飼料  
 一〇貫(百一件) ☆ハバ  
 一六七キロ(三件) ☆木桶  
 九又(一件) ☆

白馬にうわの(て)  
 、美女は駒歎の城へ、  
 フランス文壇の鬼才オカルト  
 シヤンコトオが加  
 に織りなす魔羅なる  
 現代のアラビン・ナイト  
 フラン西語コンクー

御用に  
ア

An illustration of a small, rectangular box or container, possibly made of wood or metal, with a lid. It has some faint markings or labels on it.

成婚の御盛儀  
小名盛器の司法発見佐藤義治  
佐藤義治の司法発見小名盛器  
成婚の御盛儀

審したが同町公安局員會では  
同君を國日邊査部長に昇格させた  
新規式は十日二段一時か  
**十六日より**  
東北獨立特別公

只今前賣券發賣中

東寶株式會社  
内總 第二イワ

慶應義塾のタバコをすつていて

**發表延期廣告**

ても南百五十余道の廢幕がありまつて此れを除外する  
は皆織田の御恩意を無視するものと存じますので義表を本  
事に付す

一  
十  
巴  
落  
处  
長  
し  
國  
交  
委  
員  
會  
の  
後  
新  
憲  
に  
關  
へ  
た  
い  
と  
存  
じ  
ま  
す  
平  
市  
南  
町  
七  
四

會社 飯 岡 紅

婦人科  
齊勝醫院

□入院室完備□

## 邦文スタイル生徒募集

◎開 謂 四月一日  
◎受附期日 自三月十日至三月三十日

牛市田原五（安樂院院選）

卷之三

棟方先生の

私たちは山君もそぞららしい物を果める學がどうも天註らしい、考てて見ると、小學館の頃からコレクションの趣向があつた様だ。永山君は十五歳の時先史時代遺跡を巡回して物を採集して小コレクションを作り、新聞に出たと言うから大したもの。私は、それ以後大きくなつた。

「……」とども  
菊地康山の筆で、その文章は、  
「然し炭礦の一車両費と  
家六人の生計を私の心に  
科で營まねばならない。  
あるからこの事は手を怠  
ない夢の夢なら希望であ  
然し私は考えた。先生  
全作品を集め得ないと  
せめて先生の著書を集  
と考へた。だが只の書  
面白くない。架空の著  
先生のサインを乞うて  
の書としたい、そして  
かでも蒐集の趣味を養  
よう」と努力している。  
今架空の鉄道作は  
夢想の艶魚

雄足も出でて、一足を足させば、五筋であるが、全部に先生のサインがあり、錦上花をそぞろに書いている。中でも「板敷華」の外書きは、肉筆の佛頭が描いてある。現在では、板敷華の筆蹟は、書籍刊行所などが選りすぐりしてある。「板敷」はヤマト内装装飾であるのは、いかにも考へて、筆蹟には、「一つは民藝品の大鉢、火鉢等が力強さがある」とある。しかし、その筆蹟には、「いつとも考へて、この美術の生産」と記され、「夏目漱石の妻返しに、漱石博士が先生の藝術には、眞實的生命が宿してゐる。」とある。墨跡本「板敷華」と「夏目漱石の墨跡」を先日永山君に上呈したが、先生の藝術には、眞實的生命が宿してゐる。

**押借り一昧捕わる**

地下足袋四十五足。時價十四萬  
円相當を認めた。

花賭博で  
九日夜十時頃内船町経一ノ  
坪無職即日代治(一五)全  
人外二名が裕利コイケ賭博  
る  
この間賭は石城に跟ひたもの  
からうきし、大本家源平四國

して少佐階級にて昇進後、新規一  
艦長七段(一一)同記士官として同  
向艦川越龍(一一)栗田忠義水兵  
國同渡部福松(一一)好成正  
子叶間同源吉政古田(一一)中  
村則生住所不定同鍋島義  
の六名をりの船員等

神經科  
内科  
精神科  
市橋龍  
小路  
新田田

内總町(綾子町)内古物商谷ハルさん(三四)方では去るヒ日午後二時頃不在于中衣類六點時價一萬五千円相当を齎まわ

を幽鏡中（ゆうきょうちゆう）内（うち）御署置（ごしょち）に踏（ふ）み込（こ）れ  
御用（ごよう）

の良く吹く聲を小名落葉聲所

「空ツ風」とか  
「あ天下」は  
石城の名物だ  
がその空ツ風

が聞くように出でて来るんで  
す「風がブタシマ風」だから  
だそうです。先づ縣名を聞こえ  
なければ空ツ風は今まで一  
上うー

△

實に良くあたる落葉だった。

り今月五日)ころまで小遣錢、  
米、被邊を中心に金品の借用  
を開始したり其の接待費を無  
理にさせるなどの前後三十二回  
に亘つて賭博を圖したもので  
被害は五萬五百五十円に達し  
ている。

寒の歌  
大寒や海の夕焼がぶりにけり  
寒ハラの日に向きいよ  
りにけり  
おほ河の藍染きみそと  
にけり  
ガンジ死せり東洋は冬  
おほ河を砂風よぎる  
な  
寒月の曉くあがつて

新規  
空か  
おほ方  
れ吹き  
たく照  
歩む  
**衣料品**  
吳服と洋品有名化粧品と  
雑貨 レコードと樂譜樂器  
附屬類 雜誌  
平市四丁目 電268  
**山吉商**

平和證券株式會社  
取締役社長諸橋一郎  
副初取締役白今段  
常務取締役岩下喜平  
平市日銀町（露八八四）  
お座の  
映畫會  
「平和の『お座の  
平の映畫』」は市内第三小學校  
講堂に九日から一日間上映され  
れている

娘の髪を褒めて寒い夜  
まま  
凍靴を穿いて出にけり  
タンと  
おのづから入へ結るる  
かな  
かゆる日の小綿といへ  
りにけり  
わび助や小心にして綿  
む  
外套のひだの髪が生き  
る

日本刀等を隠していて、小名屋町本町四〇番地萬野新兵衛（五六十）は去る九日銭桶新等所持令禁止違反として小名署に検査された、革鞆は以前古物商を営業としていた者で家業探案の結果日本刀五五挺、脇差五本（一本）、鎌一本、長刀一本合計十三本が発見された。

日用百貨なら  
何でもあつて  
何でも安い!!

それ程でもありませんが  
それに近ずこうと努力します  
あらゆる百貨紹  
(平市六丁目通四八五)  
安値自信 鉄問屋

生菓子で  
不當利を

國考不審治  
背々の燐輪煩事に  
髪をむしり

## 花陰く春の おとづれを

各種ミシンの

八幡地縦子／人垣葉子製造販賣  
畠田茂一(四月)は昨年十一  
月上旬頃から(五月)は上旬にかけ  
生薑三約三尺一千五百五十円で  
を製造。十一萬三千五百円で  
販賣し不當利益をむさぼつて  
いた事發覺。十日内猶豫の御用

## 下足袋盜難事件

マイクロカーマラ  
と共にたのしく  
銀田カーメテ店

販賣と修理  
平和通り  
三浦商會ミシン部